



《楽園》1976年

近岡善次郎 *Chikaoka Zenjiro*

聖なるイメージ *Sacred Images*

2023.12.14(木) - 2024.1.28(日)

開館時間＝午前10時－午後5時（入館は午後4時30分まで）
休館日＝月曜日[1月8日(月・祝)開館、翌9日(火)休館]、年末年始(12月28日－1月3日)
料 金＝一般：1,000円、高大生：600円、小中生：400円

☐ 20名以上の団体料金は各料金区分の2割引き
☐ 土曜日は小中生の観覧料無料 ☐ 日曜日午前中は小中学生の観覧料無料
☐ 障がい者手帳をご提示の方と付添者1名の観覧料は各料金区分の半額
☐ 山形美術館キャンパスメンバーズ制度登録校の学生は学生証の提示により無料

主催＝山形美術館、山形新聞・山形放送
共催＝山形県、公益財団法人山形県生涯学習文化財団
後援＝山形市

山形美術館
山形市大手町1-63 tel.023 622 3090
www.yamagata-art-museum.or.jp

Chikaoka Zenjiro Sacred Images

新庄市出身の近岡善次郎(1914-2007)は、東京・文化学院美術部で有島生馬や石井柏亭から洋画を学び、卒業後は美術団体・一水会を中心に活躍しました。

1956年近岡は文部省留学生としてヨーロッパに渡り、西洋の古典や当時の美術界の情勢を見聞しながら画家としての在り方を模索します。これが東北地方の出自であることを強く認識するきっかけとなり、帰国後は東北の民間伝承や、そこで生きる人々の心情などをテーマとした油彩画を精力的に発表。63年には、秋田と青森の土着信仰をもとにした作品で安井賞を受賞しました。

本展では2007年に寄贈された近岡の油彩作品のなかから、キリスト教絵画の影響を受けた母子像のほか、日本の霊場や神仏など、聖なるイメージがあらわされた作品に焦点を当てます。また山形の民話や東北の祭りから着想を得た作品などもあわせて展示し、郷土への慈愛に満ちた近岡の絵画世界を紹介します。



《ねむる農婦》1958年



《東北のマリア》1958年



《霊場宇曾利山》1962年



《神の湯》1960年



《おけさ堤》1962年



《うばすて山》1975年



《浄音》1978年



《晩秋》1981年

■関連イベント（要観覧料、詳しい内容は当館ホームページをご覧ください）

記念講演会
講師 山形大学名誉教授・元木幸一氏(西洋美術史)
日時 1月14日(日) 14:00-15:30
会場 3階ホール
定員 80席(先着順、申し込み不要)

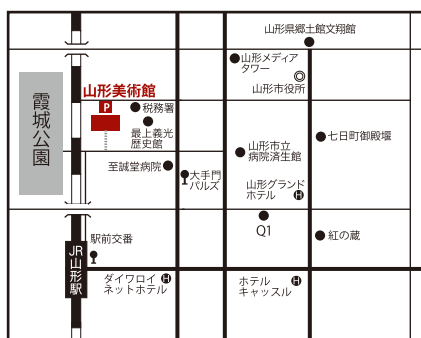
担当学芸員によるギャラリートーク
日時 12月17日、1月7日、14日(各日曜日)
各回11:00～ 20分程度
会場 2階第4展示室

■同時開催展

没後50年 土田文雄展 *本展と共通料金となります。

【同時開催常設展】

吉野石膏コレクション名作選 2023年12月14日(木)–2024年3月24日(日)
長谷川コレクション 祝いと祈りの美 2023年12月5日(火)–2024年1月28日(日)



■アクセス

徒歩 JR山形駅東口から徒歩15分
バス ベニちゃんバス「中心市街地」行き
霞城公園前下車徒歩4分
車 山形自動車道山形蔵王I.C.から約15分
*山形美術館北側に無料駐車場がございます。
美術館前山形市大手町駐車場は有料です。

山形美術館
山形市大手町1-63 tel.023 622 3090
www.yamagata-art-museum.or.jp